



第7回クリーンアップ分科会(6月10日)を開催

福島第一原発周辺の土壌分布、土地利用形態の調査結果について取りまとめた結果が示された。また、EURANOSハンドブックによる環境修復策については、日本(福島)に特有の状況を加味する必要があるものの、本分科会として参考にできる部分があることから、このハンドブックから典型例として農地について取りまとめることとなった。

技術カタログワーキンググループによる調査結果の暫定版が配布された。委員各位で技術案や検討項目などについて、加筆・修正を加える。

6/11に田中副委員長、井上主査他が福島県(南相馬市、JAそうま)を訪問し、分科会提言や環境修復技術について紹介することとなった。今回の現地訪問は、地元から意見やニーズを伺うことが主眼であり、紹介する資料もその場での意見等を踏まえて今後改訂を重ねていく必要がある。

第6回クリーンアップ分科会(5月30日)を開催

5/19に田中副会長、井上主査他が福島地区(県庁、南相馬市、飯館村、JAそうま)を訪問して行われた意見交換の内容を受け、今後も南相馬市や飯館村をモデルケースとして定期的に訪問し、勉強会や情報交換の場を設けることとなった。現地訪問が頻繁になるようであれば、費用等について学会や国の支援を要請することも視野に入れる。また、今後の福島地区への訪問活動に関しては、放射線影響分科会などにも協力を要請している。

敷地外汚染修復に係わる技術調査は、本分科会の中に専門のワーキンググループを組織し、そこで議論することとなった。

以上